

第26回病診連携委員会要録

日 時 平成23年10月31日（月） 午後7時30分
場 所 浪速区医師会 会議室
出席者 浪速区医師会 : 8名
愛染橋病院 : 2名
大野記念病院 : 2名
四天王寺病院 : 1名
多根総合病院 : 1名
富永病院 : 2名
浪速生野病院 : 3名
南医師会 : 1名
ブルーカード事務局準備室 : 1名
浪速区医師会事務局 : 1名

議 題

1. 第25回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. ブルーカード事例検討について

愛染橋病院より、前回のブルーカード事例検討で議案にのぼった入院経過途中で他院に転院となった場合について、確実にブルーカード症例であることを伝達するための方法の提案があった。転院の際に事務局へ送られる使用状況報告書をブルーカード症例であることが分かるように転院先の病院にも送ることで簡便かつ確実に伝達できるとのアイデアであった。連携病院はすべてその手続きを了承し、委員会でも満場一致で了承された。

3. 病診連携委員会のアンケート結果について

(1) メーリングリストまたはFAXによるブルーカード利用状況報告の是非について

今のシステムでは、選択病院へ入院後に2次病院へ転院しても、事務局や他の関連病院などはその動向を知ることができない。そこで「全関連病院の関わりが分かるように月ごとにブルーカードの利用状況を報告してはどうか」という主旨でアンケートを行ったと議長から説明があった。しかし、アンケートの内容理解にバラつきがあって、一貫した答えとならなかった。受診全例を報告すれば、他施設における受診や入院の状況などが連携病院全体に伝達できるので自施設での病診連携の取り組みにフィードバックできるという意見があった。そして、自施設内のスタッフにもブルーカードの活動内容を説明しやすいとの意見があった。逆に、全例報告は手間がかかり、難渋症例を共有するだけで十分ではないかとの意見もあった。また、メーリングリストの利用方法についても懸案事項として、公開議論するにはセキュリティに問題があるとの意見があった。最終的に、症例全体の流れ（年齢、性別、病名、転帰など）を事務局からシンケルのサイトに掲載（またはFAX）してもらい、難渋症例については主治医からこの委員会の事例検討の場で報告してもらうこととなった。とりあえず11月分の報告をみて継続審議することとなった。

(2) ハイリスク患者に対する情報共有のためのカード作成について

この質問の主旨は「選択病院以外の関連病院が（特に2次病院が）ハイリスク患者の情報を事前に知ることによって病病連携しやすくなり、登録症例の進まない病院への紹介につながるのではないか」ということであると議長から説明があった。しかし、アンケート内容の理解にバラつきがあったため一貫した答えとはならなかった。ブルーカード登録より詳細な情報提供は、ブルーカードの主旨に合わないので、パスはパスとして利用し、ブルーカードはパス適応症例以外を埋める役割として利用するのが正しいのではないかとの意見が主流であった。最後に連携病院に参加した山本第三病院の症例登録が進んでいないことについては、ブルーカード登録は住居近隣の病院に依頼する傾向が強いので西成区の登録医が増えれば自然に登録数が増えると考えられるため登録医の拡大状況を見守ることとなった。

4. 個人情報の取り扱いについて（確認）

最近の情勢では、個人情報の取り扱いの掲示については以前ほど厳しくない。

ブルーカードは複数の医療機関が関連しているものの、必ず掲載しないといけないという特殊性はない。現在作成されている「個人情報の取り扱いについて」は、各診療所の判断で患者と家族への説明資料として利用することとなった。

5. ブルーカード利用規約について

第14条（料金改定）の内容に変更の提案あり。「甲は、乙の承諾を得ることなく料金改定する場合があります、乙はこれに同意することとする」の文章を「料金は委員会の協議を経て改定される場合があります、乙はこれに同意することとする」に変更となった。事前にブルーカードの利用規約を各委員に送付しており内容確認を依頼したが、まだ目を通すことができていない委員もいるので次回の委員会までに確認してもらい、再度検討することとなった。

6. シンクネルの運用方法について

10月26日にマイコミジャーナル（softbank のiPhone・iPad導入事例の紹介）に紹介されたことが報告された。

今後の方向としては、関連病院にはすべての症例（または、その内容の一部）が確認できるようにし、連携が取りやすくなるよう工夫することとなった。

診療所については今まで通り自院が登録した症例のみ閲覧できることに変更はない。

7. 大阪府医師会医学会発表について

久保田議長より11月5日に開催の医師会医学会での発表内容（タイトル「ブルーカードシステム」）のプレゼンテーションを行った。

8. その他

現時点でのブルーカードの登録件数は浪速区283件（前月より8件増）と他地区2件（前月と変わらず）の合計285件、稼働件数は129件（前月より13件増）と報告があった。